

がんばってます 青年部！

京都青年中央会の野本会長と各青年部の部長さんとのトークコーナーです。今回は京都府建築士会青年部会 部長の内海正也氏にお話を伺いました。

其の三十二

京都府建築士会青年部会の巻



部長 内海 正也さん

野本 まず青年部会のご紹介をお願いします。

内海 京都府建築士会青年部会は建築士会会員の45才以下の会員で構成され、会員数650名を超える部会です。会員は建築設計事務所、建設業関係をはじめ、学校などの教育関係、官公署関係等と多岐にわたります。

野本 とても大きい組織ですね。どのような事業活動をされていますか？

内海 建築士及び建築士会の啓発・宣伝のための事業、資質向上のための事業、調査研究、本会事業への協力、会員増強及び親睦行事、リーダーの創出などの事業を5つの事業担当会が中心となって活動しております。



機関誌「京都だより」

野本 最近ではアスベスト問題や耐震強度問題、エレベーター事故といった社会的背景に加えて建築に関する新しい技術など、多くのことを勉強されなければいけないので大変ですね。

内海 はい。当会でもさまざまなセミナーやフォーラム、研修会を実施しております。最近では国内研修旅行で香川県立東山魁夷「せとうち美術館」と丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（MIMOCA）等に行きました。技術はもちろんですが、空間の感じる心地よさを体験ができました。

野本 ありがとうございます。最後に京都青年中央会に期待されることをお聞かせください。

内海 先日の代表者会議でもワークショップ形式が採用されて、よりみなさんの意見の出やすい環境づくりが進んでいると思います。当会も含めて積極的に活動し活性化につながっていけばと期待します。

野本 今後もみなさまのご期待に添うような事業を企画、案内させて頂きたいと思います。内海部長、本日はお忙しいところ有難うございました。



野本会長とがっちり握手

おたくのお仕事なにあに？

『新連携ビジネスプラン』の構築に欠かせないのが、「他の青年部はどんな仕事をしているのか?」、このコーナーでは、会員青年部の皆さんの仕事内容を紹介、会員青年部の持っている技術を紹介いたします。

丹後機械工業協同組合青年部

丹後といえば、美しい海の広がる風景や歴史、文化を感じさせる町並みを想像し、真っ先に丹後ちりめんを思い起こすでしょうが、丹後の特色はそれだけではありません。今では機械金属産業が集積するハイテクゾーンとして、その存在感を大きくしています。

丹機青年部は、京都北部地域の宮津市、与謝野町、京丹後市をエリアに機械金属関連に携わる百数十社の企業が集まり設立された丹後機械工業協同組合の若手経営者をはじめ、後継者、若手幹部候補者が中心に集まり、長年の諸先輩方の努力によって成長してきたこの丹後の機械金属業界を未来へ引き継ぎ、更に発展させようとの思いで活動を行っています。

各会社の仕事内容も鍛造、鋳造に始まり、高速NC制御によるマシンを用いたの金型直彫り加工や精密部品加工、機械装置ユニット製造、製缶板金加工、表面処理、電子部品組立などがあり、時代の流れに伴いあらゆるニーズに対応できるよう企業価値を高めながら日々チャレンジしています。

丹機青年部の主な活動は、先進企業の視察、展示会への参加、部員間や他団体との情報交換、交流、パソコンなどを用いて若手経営者の勉強会や会員家族を集めての親睦、総会、忘年会の開催など一年間スケジュールを組み活動しています。

部員の年齢は20代前半から40代前半までで、時には朝方まで飲んだり、また、自社の問題や悩みについて意見のぶつけ合いをしたりと和気藹々とやっています。今の青年部のひとつの課題は部員数を増やすことです。今年は3名の新入会員が入りましたが、総勢20数名では、まだまだ同じ志を持って勢いのある活動をするには少ない人数です。より多くの人で活力ある丹機青年部の運営をやりたいと思っていますので、このCAPかわら版を見られた丹後の機械金属関連の会社の社長様、若手後継者育成を考えておられるのであれば、是非、この丹機青年部への入会をお勧めします。

これからも業界の発展に青年部らしく活動していきますので、よろしくお願いします。

文＝青年部部長 尾崎 至弘

協同組合日新電機協力会 青年経営研究会

私達、協同組合日新電機協力会 青年経営研究会は「協力下請工場にも親企業に負けない新しい経営感覚を取り入れ、若い世代の者が相寄り事業の経営を一層合理化するとともに、相互発展と共存体制を確立するため、青年経営研究会を結成し、研究会、講習会、見学会等を通じて相互啓発を図る。また、会を通じて青年層の相互関係を親密にし、親睦を深める。」という目的で昭和36年1月に設立されました。

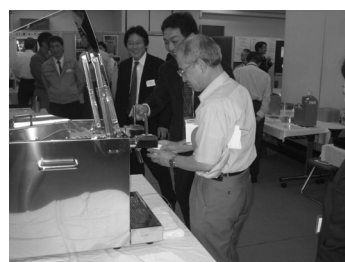
現在、親組合会員企業数31社で青研会員数は9名ととても少ない会員数ではありますが、少数精鋭の会員にはとてもパワーがあり、年間を通して数多くの活動を行っています。

当会は他の青年部さんとは違い様々な業種が集まっている会なので、「こんな仕事をしています!」とは一言では表現しにくいのですが、得意先からの仕様に基づき製品構想を行う「設計」、鉄・アルミ・ステンレス等の金属類やセラミックを切削加工する「精密切削加工」、レーザーで金属を切断する「レーザー加工」、プレス機を使って金属を成形する「プレス加工」、金属と金属を溶かして接合する「溶接加工」、ネームプレート製作やプラスチック精密彫刻等を手掛ける「銘板加工」、様々な部品を組み合わせ形にして行く「組立」など、近代産業の物作りに欠かせない企業が集まっています。

当会では、「もの作りのプロ集団であり、異業種の集まり」という特徴を生かして何か出来ないだろうかと常々考えており、設計・部品加工・組立までの仕事を各企業の得意分野で分担し作り上げた物が、昨年のCAPフェスタでも活躍した【瞬冷式ポータブル飲料サーバー】です。

日新青研では、更に業種の壁を越えて京都に古くから伝わる伝統産業関係の方々や色々な青年部の方々と連携・協力した製品作りにチャレンジして行きたいと考えておりますので、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

文＝代表幹事 岡野恵美



今後の事業予定および事業報告

第23回 京都府知事杯争奪ソフトボール大会

●とき

平成18年11月12日(日)

●ところ

丹波自然公園



事業報告

去る7月29日(土)午後6時より京劇ドリームボウルにおいて第23回 京都市長杯争奪ボウリング大会を開催いたしました。

優勝は西陣意匠紋紙工業協同組合青年会の皆様でした。おめでとうございます。

21青年部、89名の皆様にお集まりいただきまして有難うございます。



編集後記

暑い日々が続いて身もころもとろけそうです。屋外で暮らす飼犬もべたん、としてのを最近よく見かけます。夏本番、いかがお過ごしでしょうか?海や山へ行ったり、お祭りや花火、納涼会や避暑など、いろいろとやるがあります。クーラーの効いた部屋にどっぷり浸かるのもいいですが、健康には十分ご注意ください。